



学校だより No. 9

日々新たに

尼崎市立日新中学校

令和元年12月25日発行

こどもの時間、大人の時間

84日間の長い2学期が終わり、終業式を迎えました。今年ももうすぐ終わりますが、生徒達はこの一年を長く感じたでしょうか、それとも、短く感じたでしょうか。私はここ数年、年の瀬を迎えるたびに、一年があっという間に過ぎ去ったように感じます。時間知覚の研究によると、実際、大人の方が子どもより、時間が速く進むように感じるのだそうです。しかも、それは年齢を増すごとに加速するといえます。

ところで、人間は恐怖を味わうと時間がゆっくり進むように感じる事が分かっています。人が地上約45メートルの高さからバンジージャンプを行う実験では、参加者全員が落下中に、スローモーションのように時間がゆっくり過ぎる体験をしたそうです。この理由を説明するには、私たちの脳がどのように周囲の情報を処理しているかを知る必要があります。

普段、脳は、目や耳や鼻などの感覚器官から入ってくる情報をふるいにかけて、重要なものだけを記憶します。道を歩いている時、周りの景色や通行人の顔、エンジン音、傍らの花の香り等の情報は、そのほとんどが脳に記憶されません。しかし、もしそこに、一台の車が猛スピードで突進してきたとしたら、とたんに、脳は全ての情報をつぶさに記録し始めるのです。

このような危機的状況において、人間の脳は、知覚する全ての情報を記憶しようとします。なぜなら、それらは、生き残るために必要な情報だからです。これは、生物の進化の過程で身についた脳の反応です。同様にバンジージャンプも命にかかわる状況であり、脳内で記録する情報量は一気に増大します。脳は処理するのに時間がかかってしまい、その結果、時間の流れが遅く感じられたのです。

子どもと大人の時間知覚の違いにも脳が関係しています。子どもの頃に時間がゆっくり過ぎるように感じるのは、子どもは初めて経験する新しい情報が多く、それらを処理して記憶するのに時間がかかってしまうからです。一方、年を取ると、すでに経験済みのことが多くなり、脳は過去の記憶を参考に処理を行うため、新たに脳に書き込まれる情報は減り、時間が速く過ぎるように感じるのです。

人の時間知覚のゆがみについては、次のような実験でも明らかになっています。コンピュータの画面に、ありふれた茶色の靴の写真は何枚も順番に表示していき、時折、靴の代わりに花の写真を映し出すようにします。そうすると、それを見た人は、全ての写真を同じ時間表示しても、花の写真の方が靴の写真よりも長い時間画面に表示されているように感じるのです。

私達の脳が、ある日、初めて体験する新鮮な情報に大量に触れ、次の日は逆に、新しい情報に全く触れなかったとします。この場合、どちらも1日の長さは同じですが、最初の日の方が後の日よりもずっと長かったと感じるはずですが、限りある人生を、あっという間に過ぎ去ってしまう時間と感じるのか、ゆっくりと流れる充実した時間と感じるのかは、その人の脳が触れる情報次第なのです。

令和元年も残すところ6日です。生徒達には、この一年の時間の過ごし方について、しっかり振り返ってみてほしいと思います。そして、新しい年を迎えるときには、脳が情報の処理を省いてしまうような平凡な生活ではなく、脳がフル回転で情報を処理しなくてはならないような、変化と刺激にあふれた生活をスタートしてもらいたいと願います。

校長 宮田 聡

小学校出前授業（立花南小）

11月28日、小中連携として、立花南小学校の6年生に数学と国語、家庭科の出前授業を実施しました。

数学は、高取先生が計算の規則性を見つける「正負の数」の授業を、国語は、三宅先生が筆ペンで好きな一字を書く「書道」の授業を、家庭科は、田邊先生がフェルトに針と糸を使って「玉留め、玉結びの仕方」を教える授業を行いました。



子どもたちは、初めて中学校の先生の授業を受けて、中学校の勉強がどんな感じか体験できたと思います。児童の皆さんには、来年4月に元気に中学校に入学してほしいと思っています。



生徒会役員選挙

新生徒会役員	
生徒会長	服部 美咲
3年副会長	新井 睦也
2年副会長	小松 陽向
書記	中村 真穂
風紀委員	太田 凜花
美化委員	堀 美咲
文化委員長	白崎 翔子
保健委員長	宗實 野乃
体育委員長	鈴木 心琴
図書委員長	河野 美音
3年学年代表	大石 煌
2年学年代表	福永 ひなた



12月13日に、生徒会役員選挙が行われました。今回、17人の生徒が立候補し、1週間の選挙運動期間の後、体育館で立会演説会を実施しました。各候補者は、全校生に向けて、それぞれのやる気と公約を力強くアピールしました。

投票の結果、12人の新生徒会役員が決定しました。当選した人達には、日新中生を引っ張って行く良きリーダーとなり、学校をより良くするために全力で頑張ってくれることを期待しています。

地域に学ぶ 『トライやる・ウィーク』



11月25日から5日間、2年生の「トライやる・ウィーク」が実施されました。141名の生徒たちが74の事業所に分かれて参加し、貴重な体験とともに大きな成果をあげることができました。

学校を離れた5日間の体験で、子どもたちは社会の厳しさ、働くことの大変さを学ぶと同時に、人との出会いを通して、人とのきずな、ふれあいを感じることができたと思います。

この「トライやる・ウィーク」のまとめとして、12月6日に体育館で、事業所や保護者の方をお招きし「トライやる報告会」を開催しました。生徒達は、お互いの体験を交流しあい、事業所の方々からも温かい励ましのお言葉をいただきました。

「トライやる」という言葉には、「挑戦する＝トライ」と「学校・家庭・地域の三つ＝トライアングル」という意味が込められています。今後も、「学校」、「地域」、「家庭」が協力し合い、子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。



情報モラル講演会



12月16日、尼崎南警察署と尼崎少年サポートセンターの方を講師にお招きし、全校生を対象に「情報モラル講演会」を実施しました。

ネットを利用する際、自分は大丈夫という過信やクレジット機能などの見えにくさ、また、依存性の高さ等、人間の心理的弱さを狙ったネット犯罪について、わかりやすく説明していただきました。そして、トラブルに巻き込まれそうになった時は、立ち止まり、周囲の大人に相談することが大切であるとアドバイスをいただきました。

事前のアンケートで、日新中生の80%がスマホを所持し、フィルタリングをかけている生徒は31%という結果が出ています。家庭でも、家庭内のルールづくりやフィルタリングの活用について再度ご確認ください。

☆ 頑張る日新中生！ ☆



- 第39回「全国中学校人権作文コンテスト」
 - 兵庫県尼崎大会 優秀賞 2-3 瀬崎 瑠璃
 - 入選 3-3 北地 未来 3-4 横山 彩奈
 - 3-1 藤井 仁瑚 2-4 河野 涼音
- 「税の作文」コンテスト 中学生の部
 - 尼崎税務署長賞 3-1 川村 奈津実
 - 尼崎市租税教育推進協議会会長賞 3-3 川合 こはる
 - 尼崎納税貯蓄組合連合会会長賞 3-2 安居 優月
- 愛鳥週間ポスター原画コンクール (★全国★)
 - 入選 3-4 山本 果未



1月の主な予定



月	火	水	木	金	土	日
		1 《元日》 学校閉鎖	2 冬季休業日 学校閉鎖	3 冬季休業日 学校閉鎖	4	5
6 冬季休業日	7 冬季休業日	8 始業式 (集会、学活、学活)	9 (道、木23456)	10 1, 2年あまっ子 ステップアップ調査 3年薬物乱用防止講演会	11	12
13 《成人の日》	14 生徒会専門委員会	15 (5校時まで)	16	17 防災避難訓練(6h)	18	19
20 (月62345、総) 生徒朝礼 1年百人一首大会(56h)	21	22 (道、水2354、木1) 3年私学出願(5,6h)	23	24 2年性教育講演会(6h)	25 オープンスクール(4.5h) A週(月52346) 入学説明会 人権研修	26
27 《代休日》	28 教育相談 (5校時まで)	29 教育相談 (5校時まで)	30 教育相談 (5校時まで)	31 教育相談 (5校時まで)		

<2月の主な予定> 2/10(月)：私学入試 2/17(月)：公立推薦・特色・多部制I期入試
2/19(水)～21(金)：学年末テスト 2/26(水)：生徒会新入生説明会 2/29(土)：特別支援学級卒業生を送る会



愛鳥週間ポスター原画コンクール(全国)
入選作品 3年4組 山本 果未さん